

「北海道胆振東部地震」の被災状況等について

(平成30年9月12日現在)

	建物備品被害	ライフライン被害	物品製品被害	停電期間	開所状況	休止したサービス	被害への対応・苦慮した点	今後の対応	9/10時点の状況
就労支援事業所 回答14事業所	<ul style="list-style-type: none"> まな板包丁殺菌庫が倒れてへこむが、使用可(札幌市) 掛け時計1台落下、破損(苫小牧市) 	<ul style="list-style-type: none"> 停電(全事業所) 停電によるポンプ停止のため断水(岩見沢市、釧路市、小樽市) 数時間の断水(苫小牧市) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者昼食用の生魚20人分を廃棄。(岩見沢市) 9/6出荷分のパンが全滅。冷蔵庫の中の食材を一部廃棄処分。炊き出しとして使用。(札幌市) 製パン材料の多くを廃棄処分。冷凍保存していたパン約1,600個を市に支援物資として提供した。(苫小牧市) 冷蔵・冷凍食品の廃棄(帯広市、岩見沢市、苫小牧市) 9月6日製造予定のパンの材料等の処分(函館市) 	<ul style="list-style-type: none"> 2日間…2事業所 1.5日間…7事業所 1日間…3事業所 0.5日間…2事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を変更して開所…1事業所 4日休止…1事業所 3日休止…2事業所 2日休止…8事業所 1.5日休止…1事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 有…11事業所 就労A…1 就労B…10 就労移行…2 無…3事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所として開所し対応。電話が使用できず携帯の人の安否確認しかできなかった。ショートメールを活用(札幌市) 断水した家庭の利用者に水を提供。来所した利用者の不安の解消。停電により事業を休止せざるをえず利用者の安否確認を含め被害状況等を知る手段がなかった(千歳市) 朝8:00までに利用者全員の安否確認完了。断水した方には水を届けた。食材を確認し問屋から氷を購入し冷凍庫へ補充した(岩見沢市) 6日の朝から利用者への安否確認や事業所の事業が出来ない旨の連絡をしたが、携帯もつながりにくく職員や利用者ともに連絡が十分出ず、思うような対応ができなかった(苫小牧市) 利用者に呼びかけて8日の昼食に炊き出しの支援を行った(苫小牧市) 利用者の安否確認(苫小牧市、名寄市) 作業再開するための食材調達に苦慮(苫小牧市) 給食サービス利用者にお弁当配食で対応(名寄市) 物資として飲料、保存食を配布(名寄市) 発電機の使用(名寄市) ラジオでの状況把握(名寄市) 関係機関との連携により対応策の検討(名寄市) 食材の調達に苦慮(帯広市、小樽市、遠軽町) 情報伝達に苦慮(遠軽町) 通所者全員に電話連絡を試みたが、繋がらず苦慮した(帯広市、岩見沢市) 冷蔵庫にある製品の管理、保管(岩見沢市) 受水槽にある水のみで飲料水、トイレ排水に対応。浄化槽排水は対応できないのであと1日停電が続くと、事業所休止の判断をしなければならなかった(釧路市) 	<ul style="list-style-type: none"> 自家発電機など、災害対策、福祉避難所対応を検討していく(札幌市) ラジオ等で得た情報の伝達。避難場所の確認等(千歳市) 利用者サポートの継続、授産事業についてはのきなみイベントの中止が出たので、在庫の販売先を検討している(岩見沢市) 製パン業種の利点として常時大量に在庫している冷凍パンは非常時に食料支援が可能であり、設置している飲料の自販機の活用も可能である。今回の停電時には連絡可能なアナログの電話機の設置が有効と思われるので検討したい(苫小牧市) お弁当製品のメニュー変更(苫小牧市) 利用者に対しての不安等の軽減(名寄市) 職員の役割を再確認し、同様の被害があった場合に迅速に対応する(名寄市) 停電による不便から発電機の必要性あり。(遠軽町) 非常災害時の対応を改めて整備していく。(帯広市、小樽市) 利用者への連絡網の確保、緊急対応の整備と確認(岩見沢市) 	<ul style="list-style-type: none"> 通常通り運営…13事業所 一部サービスを除き運営…1事業所
相談支援事業所 回答13事業所	<ul style="list-style-type: none"> 室内壁のひび割れ、電線の支柱の破損、外壁・土台のひび割れ(砂川市) 食器5枚破損、玄関の置物が落下し破損(札幌市) 	<ul style="list-style-type: none"> 停電(全事業所) 携帯電話の圏外(室蘭市) 	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫内の食料品の廃棄(札幌市) 	<ul style="list-style-type: none"> 2日間…2事業所 1.5日間…6事業所 1日間…2事業所 0.5日間…3事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 通常通り開所…7事業所 時間を変更して開所…2事業所 2日休止…1事業所 1.5日休止…1事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 有…7事業所 地活…4 相談支援…1 訪問…1 入浴サービス…2 食事サービス…2 無…6事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 体調管理、心のケア(札幌市) 非常食の備蓄(函館市) 6日、7日の閉所時の電話対応、情報提供など(名寄市) 単身者については可能な範囲で連絡。公用車は保管場所の地下駐車場が閉鎖していた為、使用できず。来所者の不安解消の為の場の提供、避難場所等の情報提供、市や関係機関との情報交換など。交通機関や信号の関係で一定距離以上の職員は自宅待機にしたため、1~2名の職員で職場待期して可能な範囲での対応を行った(千歳市) 早朝に職員自宅待機連絡。携帯圏外となり連絡手段に苦慮、信号機停電により車移動が危険、携帯電話充電に苦慮(札幌市) 食事提供と食料確保(釧路市) スケジュールをキャンセルし、単身者等へ電話や訪問で安否確認。市と対応について検討し24時間窓口を設置した。連絡に苦慮した(室蘭市) 電気を使わない活動を行った(標茶町) 通信手段がなく職員の私用携帯及び訪問にて利用者へサービスや研修の中止等の連絡。断水の方へセンサーでの洗面等水の使用についての声かけ。電気が復旧してからは、独居の方中心に安否確認を行う。食材の確保が困難で、夕食サービスを予約していた方には無料におにぎりとお味噌汁を提供。余ったものも来所した方に配布した(苫小牧市) 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄品等の準備、夜間等災害対策マニュアルの作成(札幌市) 災害時の薬の備えについて最低3日間は必要(函館市) 計画停電時の対応(名寄市) あらためて地震時の避難訓練、災害への備えについての学習など職員及び利用者で9月中に行う予定(千歳市) 建物のひび、破損部位について各業者に点検・修理依頼予定(砂川市) 周辺マンションが多いため、町内会と連携して断水した方への給水所、トイレの開放、炊き出しを行う。発電機の設置等福祉避難所としての整備を行政に検討してほしい(札幌市) 	<ul style="list-style-type: none"> 通常通り運営…13事業所

「北海道胆振東部地震」の被災状況等について

(平成30年9月12日現在)

	建物備品被害	ライフライン被害	物品製品被害	停電期間	開所状況	休止したサービス	入所者の避難	被害への対応・苦慮した点	今後の対応	9/10時点の状況
居住支援事業所 回答15事業所	<ul style="list-style-type: none"> 排水ホースがずれ、食堂手洗い場下から水漏れがあったが、自力で直した(札幌市) 食器類の破損(千歳市) 	<ul style="list-style-type: none"> 停電(全事業所) 停電によりトイレの水が供給できなくなった(札幌市、帯広市) 電動ポンプによる汲み上げ水道が停電により使えなくなり断水(小樽市) 携帯電話の電波が6日午後より圏外となった(函館市) 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品の一部廃棄(札幌市、千歳市、帯広市、釧路市) 	<ul style="list-style-type: none"> 2.5日間…2事業所 2日間…2事業所 1.5日間…9事業所 0.5日間…2事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 通常通り開所…12事業所 時間を変更して開所…1事業所 2日休止…1事業所 1日休止…1事業所 0.5日休止…1事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 有…3事業所 生活介護…1 食事提供…1 入浴サービス…1 無…10事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 有…2事業所 小学校…1 市役所…1 無…13事業所 	<ul style="list-style-type: none"> 食料と物品の確保(名寄市、小樽市) 6時間程避難所を利用しましたが、慣れない環境と不安から体調を崩す利用者がいた(苫小牧市) 提供食の食材の確保。業者への直接依頼にて食材追加注文が可能となった(登別市) 上階の水道がとまったため、トイレの水の確保(札幌市) 地震当日の利用者22名分の昼食・夕食の確保について、提供先との連絡が取れず、協力病院から援助を受けて間に合わせるまでのやりとりに苦慮(札幌市) 冷蔵庫が使用できず、食事の提供と食材の確保に苦慮した(千歳市) 停電時に固定電話・携帯電話とも繋がりにくく、市内9ヶ所の事業所とのやりとりができず情報収集に苦労した(釧路市) 普段はIHコンロを使用していたため、停電時にはカセットコンロを使用した(名寄市) 灯り、電池、食材の確保(千歳市) 食事提供(伊達市) 情報の集約と共有をおこなったが、携帯電話が繋がりにくく、また充電に困った。信号機が停止しているので出勤できなくなり人手不足となる(帯広市) 非常灯も切れたため灯りの確保に苦労した。夜間はスタッフを増員配置した。浄化槽の排水ポンプも止まったため、長期化すればトイレが使用できなくなっていた(函館市) トイレ使用時にバケツで水を流すのが大変だった(旭川市) 避難場所として単身生活者の受け入れ(小樽市) 複数の精神科病院が臨時休診となり、薬が切れてしまう方への対応(小樽市) 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の災害に向けての備え(帯広市、名寄市、釧路市、伊達市) 災害対策セットの再確認(千歳市、登別市、小樽市) 停電に備え懐中電灯を用意する(札幌市、千歳市、旭川市) 非常灯バッテリーなどの入れ替え(函館市) 緊急時マニュアルの内容を詰める(札幌市、帯広市) 災害計画の見直し(函館市) 非常時の指揮系統マニュアルの整備(小樽市) 非常食を増やす(札幌市、千歳市、小樽市) 電池の備蓄(千歳市) 情報の集約と共有のシステム作り(帯広市) 物流が回復するまでの食材確保(小樽市) 発電機の用意(小樽市) 	<ul style="list-style-type: none"> 通常通り運営…15事業所